

一宮町中央公民館建設検討委員会

検 討 結 果 報 告 書

令和6年11月

はじめに

一宮町中央公民館（以下「公民館」という。）は昭和48年に建設され、社会教育や生涯学習などの活動拠点として、多くの町民に利用されています。しかし、現在は耐震性能に不足が生じていることや、空調など各種設備の老朽化が進んでいるほか、予約システムなどのデジタル化や館内のバリアフリー整備が大幅に遅れている等、複数の課題が生じています。

一宮町中央公民館建設検討委員会（以下「委員会」という。）は、公民館の整備を検討するにあたり、多くの町民から幅広い知見を求めて協議することを目的に設置され、令和6年7月から委員19名によって、委員会の協議が開始されました。

一宮町教育委員会が実施した、公民館に関する住民ニーズ調査（アンケート・タウンミーティング【住民対話集会】・グループインタビュー【団体聞き取り調査】）の結果などを基礎資料として協議を重ね、委員会の意見を取りまとめましたので、報告いたします。

検 討 結 果

1. 基本的な方針（規模や機能）

公民館は、文化活動や生涯学習の拠点となる教育施設です。

本委員会の設置目的は、公民館建設に関する検討ではありますが、住民ニーズ調査や、各委員からの意見では、教育を目的とした公民館機能だけでなく、図書館や歴史資料館など文化施設の整備を求める意見のほか、子育て世代からは、児童館や自習室、子ども達が安心して集える場所に関して、町内に行く場所がないため他の市町村にまで行っているという切実な声が多くありました。

本町の少子化や人口減少を考える上でも、子育て関連施設の拡充や必要性は今後益々求められていくものと推測します。また、町民が交流できる場として、カフェや飲食が出来る部屋の要望もありました。

一宮町は豊かな自然のほか、上総一ノ宮玉前神社の門前町として、古くからの文化や歴史がある町です。多くの文人や政治家、企業などが避暑地や保養地として過ごしてきた本町は、東京オリンピックのサーフィン競技会場に選ばれたことにより、更に知名度や魅力が向上したことから近隣市町村に比較して移住者が多く、子どもの数も多いわりに、子育て関連の施設や、町民の交流施設、文化施設が近隣市町村に比べて乏しい状況にあります。

また現在の公民館では、調理室を利用して、一人暮らしのお年寄りへの配食サービスのお弁当づくりや、ホールを利用した「ふれあい昼食会」などの福祉事業も定期的に行われており、今後予想される高齢化社会に向けて貴重な活動の場となっています。

そして、公民館は大雨などの災害時には指定避難所としても、使用されています。近年は温暖化等の影響により数十年に一度の大雨といわれる災害が日本各地で毎年のように頻発するようになりました。また、日本は地震国でもあり、本町にも大地震の被害が生ずる恐れがあります。このような背景から、避難所としての機能に関しても沢山の意見や要望が寄せられました。

その他、公民館は、選挙の期日前投票所や、運転免許証の更新会場、健康診断の待合室などを含め、多種多様な使い方がなされています。

これらの状況を踏まえ、今後、新たに整備する施設は、教育を目的とした公民館に限定せず、建設後50～70年の間、町民の様々な要望を叶える複合施設として、公民館の機能を含め、新築で整備されることを協議結果として報告いたします。併せて、役場の関係各課が連携のうえ、町の主要政策として企画政策担当課が、今後の計画は推進されるよう要望いたします。

施設の大きさや規模に関しては、一宮町文化祭や成人式などは現在、一宮町GSSセンター(町営体育館)を会場にしているため、このような行事も開催可能な施設面積を望みます。

併せて、住民ニーズ調査や検討委員の多様な意見や要望を取り入れた複合施設には、建設工事費のほか、維持管理費、新たな施設で行われる事業予算など、多額の財源が必要となるため、建設基金を設立して財源を積み立てることや、ふるさと納税など寄附金の確保、また、国の補助金や交付金、交付税措置のある起債を活用する等、財源の確保に取り組まれますようお願いいたします。

2. 建設場所

建設場所に関しては、住民ニーズ調査等の結果、JR上総一ノ宮駅や町内各地域からの交通アクセスが容易であることや、役場や保健センターに隣接しているため利便性がある等の理由から、今と同じ場所に建設することを大多数の方が希望しています。新たな複合施設の建設場所は、現状の公民館と同位置、または、一宮町役場周辺に建設することを、委員会の協議結果として報告いたします。

なお、災害時の避難所として、現在の公民館の位置を心配する声も多くありました。現公民館は津波浸水想定区域に入っており、これまでも津波時の指定避難所に指定されておられません。町民の災害時における避難所の不安を払拭するためにも、高台にあるGSSセンターなどについて、避難所としての機能強化を要望いたします。

3. 建設年度

複合施設としての計画作成や、国からの支援を受けるための準備や手続きに数年間を要すると想定されますが、3～5年後(令和9年度～令和11年度)を目標に、建設工事の着手を要望いたします。

4. 中央公民館の修繕

複合施設が完成し、供用開始されるまでの間において、現在の公民館の冷暖房や、高齢の方々のスリッパへの履き替え等バリアフリーの改善、館内トイレの衛生面の改善、公民館活動に必要な備品などについて、公民館利用者の意見や要望を伺いながら、必要な修繕については対応されるよう要望いたします。

5. 委員会の開催経緯

	開催年月日	主な内容
第1回	令和6年7月24日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱書の交付 ・ 委員長及び副委員長の選出 ・ 委員会設置の目的とスケジュールについて ・ 公共施設改修に伴う財政計画（R4～R16年度）の説明 ・ 住民ニーズ調査（アンケート）の実施について ・ 住民対話集会（タウンミーティング）の実施について ・ 団体聞き取り調査（グループヒアリング）の実施について
第2回	令和6年8月28日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一宮町中央公民館建設検討委員会における傍聴要領について ・ 意見交換会 ・ 要望書の取り扱いについて
第3回	令和6年9月25日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民ニーズ調査の中間報告 ・ 一宮町中央公民館の整備に関する検討について
第4回	令和6年10月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一宮町中央公民館の整備に関する検討について
第5回	令和6年11月6日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討委員会報告書（案）について

一宮町中央公民館建設検討委員会 委員名簿

委員長	おぜき よしあき 小関 義明	一宮町議会
	かわしろ しげき 川城 茂樹	一宮町議会
	ふじい ゆきえ 藤井 幸恵	一宮町議会
副委員長	おだか たかし 小高 隆	教育委員会
	たちばな あ ゆ み 立花 亜由美	教育委員会
	おおば けんじろう 大場 謙次郎	一宮町社会教育委員会議
	わたなべ けいのすけ 渡邊 恵之助	一宮町文化協会
	おかだ かずひと 岡田 一人	一宮町立小中学校校長会
	うざわ きよひさ 鵜沢 清永	一宮町PTA連絡協議会
	ふじい あつし 藤井 敦	一宮町区長会
	むらやま ゆうき 村山 裕紀	一宮町子ども会育成会
	ながしま とよみ 長島 豊美	一宮町女性会
	さいとう しげみ 齋藤 繁美	一宮町つくも会
	よしの しげのり 吉野 繁徳	一宮町社会福祉協議会
	やなぎさわ のぶこ 柳澤 伸子	一宮町ボランティア連絡協議会
	ふくなべ かつよし 福邊 克吉	男性公募委員（40歳～59歳）
	なかむら まさとし 中村 雅紀	男性公募委員（60歳以上～）
	かわだ し のぶ 川田 しのぶ	女性公募委員（40歳～59歳）
	すずき ゆうこ 鈴木 祐子	女性公募委員（60歳以上～）

(順不同)